



第4回執行委員会
4月11日(木) 13時半～
地本会議室
(終了後、15時半～)
川口正巳さん(銚子)
の送別会を行ないます。

京葉線に快速はいらなかった!

でも通快をなくしたのは大失敗だったねえ・

ローカルと京葉線を結ぶ通勤快速だけでも残しておけば、今回これほどの騒ぎにはならなかったはずです。特に朝の通勤時間帯、快速も通勤快速もなくて、代わりに?金のかかる特急を1本増やしたのでは、怒られるに決まっています。が、快速の朝夜の廃止は、何より乗務員が、そして利用者も

余計な気苦労もなく、全駅の利用者が平等に利用出来ることで、大変喜ばれていることとされています。反対意見もありますが..

現在も日中時間帯のみ快速が残っていますが、土日のイベント時には、平日の通勤時間帯でもありえない身動き出来ないほどの超満員となり、大変危険な状況です。後ろの各駅停車はガラガラなのに...。快速に無理に乗ろうとするから、どんどん遅れ、急病人も発生しやすく更に遅れるでは本末転倒です。快速を全廃し、安全に全列車均等の利用を目指すべきです。

うたてつ ノススメ28 東京 (マイペース) 1974年10月

最終電車で 君にさよなら
いつまた会えると 聞いた君の言葉が
走馬燈のように めぐりながら
僕の心に 灯をともす
何も思わずに 電車に飛び乗り
君の東京へ東京へと 出かけました
いつもいつでも夢と希望を持って
君は東京で 生きていました
東京へはもう何度も行きましたね
君が住む美し都
東京へはもう何度も行きましたね
君が咲く 花の都

君はいつでも やさしく微笑む
だけど心は むなしくなるばかり
いつか二人で 暮らすことを夢見て
今は離れて 生きてゆこう
君に笑って さよなたを言って
電車は走る遠い道を
ああ 今すぐにも戻りたいんだ
君の住む街 花の東京
東京へはもう何度も行きましたね
君の住む美し都
東京へはもう何度も行きましたね
君が咲く 花の都

秋田の中学の同級生3人によって結成されたという経歴にまず驚いた。同じクラスに音楽的才能が3人もいたのか...

デビュー曲で、かなりヒットした。作詞作曲はリードボーカルの森田貢。サビの歌詞と曲と、リズムが一体となるインパクトは強烈で、一度聞いたら忘れられない、フォークだがサビ部分はゴスペルのよう。サビの前も分かり易いメロディで素敵だが、フォークシンガーの作者の気まぐれってやつで、詞がメロディに乗りづらい箇所があり、レコード通りに覚えないと、歌いこなせないかも...

東京について「花の都」とか「美し都」とかいう言葉も現在は聞かないが、この当時はまだまだ「あこがれの都会」であり、地方に住む若者にとっては、交通格差、情報格差もあり、遠い存在であったのかもしれない。「君」を追いかけて何度も東京に向かってしまう主人公...女々しいと分かっている

もあきらめきれない...青春だなあ。守屋浩の「僕は泣いちっち」も同じようなシチュエーションの鉄道ソングだが、更に女々しい!!

土屋正浩さん、お疲れさまでした!

銚子運輸区、車掌の土屋正浩さんが、64歳の誕生月である3月末日で退職されました。写真は今年1月の最終乗務の時のものです。過去には地本大会の議長も務めていただいたこともありましたが、組合運動へのご協力もありがとうございました。

